



# 「卒業前最後の集中支援」の取組状況

新規大学卒業予定者等の就職環境が非常に厳しいことを踏まえ、厚生労働省、文部科学省、経済産業省は、1人でも多くの方が卒業までに就職できるよう、未内定者を対象に「卒業前最後の集中支援」を実施しました。

## 【未内定者支援の課題】

①未内定者は既卒者と違い、企業が採用するインセンティブがない ②誰にも相談できず孤立・就活戦線が中心が大学3年生等に移行 ③学生が「ジョブサポーター」や「新卒応援ハローワーク」を知らない ④企業とのマッチングの機会が不足

## 関係各省の連携による「卒業前最後の集中支援」

### 既卒者を雇用する事業主への奨励金の未内定者への特例的適用 中小企業団体への最後の活用要請・奨励金を活用した最後の求人開拓

■「経済対策」等により創設した卒業後3年以内の既卒者を採用した事業主への奨励金を未内定者にも特例的に適用（2月1日より）。ハローワークにおいても、奨励金を活用した求人開拓を徹底 ※1 平成22年度限りの措置

**【実績（平成23年2月1日～平成23年3月31日）】 9,713人分が採用内定**

- 3年以内の既卒者を対象にトライアル雇用を行う企業への奨励金（「3年以内既卒者トライアル雇用奨励金」）
 

対象求人数	137,760人	（特例適用発表以降の増加分）
内定者数	7,308人	（特例的対象者とした未内定者の内定者数）
- 新卒扱いで3年以内の既卒者を採用する企業への奨励金（「3年以内既卒者（新卒扱い）採用拡大奨励金」）
 

対象求人数	17,996人	（特例適用発表以降の増加分）
内定者数	2,405人	（特例的対象者とした未内定者の内定者数）

## 【その他の取組】

### ○ 大学等とジョブサポーターとの情報共有による個別支援の徹底

大学等が支援を希望する未内定者を把握し、新卒応援ハローワーク等のジョブサポーターと情報共有

### ○ 民間就職情報サイトを通じたジョブサポーター・新卒応援ハローワーク等の周知

主要な民間就職情報サイトに対し、ジョブサポーターや新卒応援ハローワーク等の周知のためのバナー掲載

### ○ 中小・中堅企業を中心とした就職面接会の追加開催

未内定者のマッチング機会を拓くために、中小・中堅企業を中心とした就職面接会を開催

### ○ 大都市圏での土曜日の「サタデー特別相談」の実施

大都市圏の新卒応援ハローワーク（東京・大阪・名古屋）就職活動全般の相談等を実施

### ○ 未内定者の保護者に対する働きかけの実施

未内定者の保護者に対して、新卒応援ハローワークの利用勧奨などの働きかけを実施

## ● 平成23年2月～平成23年3月の実績

のべ104,006人が新卒応援ハローワークを利用し、17,933人の就職が決定

34,427人がジョブサポーターによる支援により就職が決定し、20,864人の求人を開拓

## ● 平成23年4月の実績

卒業後も、引き続きジョブサポーター等による支援を継続し、9,242人の就職が決定